

はちまんのええトコ、伝えます。

赤こんりポーター

市民が地域の問題やイベントなどを取材し、発信することにより近江八幡の魅力を市内外へお届けしている「市民広報リポーター（愛称：赤こんりポーター）」の活動に迫ります。

問 秘書広報課 TEL(36)5526・FAX(32)2695

「取材先で、『そのフレーズも良かった!』というようにいい話を聞いたときが一番楽しいです」

熱っぽく話す東恵子さんは、平成30年度に広報紙でのリポーター募集記事を見て応募され、今年度で2期目の活動となります。

知的障がいを伴う自閉症のお子さんがいることや、高校時代に美術部で絵を描いていたこともあり、障がい福祉やアートに関心を持つ東さん。

「子どものことにもつながりますが、障がい福祉のイベントや良い取り組みがあっても、あまり皆に知られていないと感じるので、とにかく知ってもらいたいと思っています」

普段は、市内のデイサービス施設で介護職

取材で広がる 自分の世界

員として週3〜4日勤務。『ボランティアの立場でノルマがないから、気楽に活動しています。活動が負担に思ったことは一度もないですね』と仕事との両立もできているといいます。

「リポーターの活動を始めてから、今まで知らなかったことを知ることができて、世界が広がりました。取材先で魅力的な人たちと出会えるのも楽しいです」

そんな東さんにとって、カメラのレンズを通して見た近江八幡は、「人に優しく、温かいまち」だそう。

「取材で出会った人たちの横のつながりが面白いものを生んでいたりする。そういうものも取材したいですね」と意欲を燃やします。

／ 今年度は私たちが担当しています! ／



写真左から
的場保典さん(安土町慈恩寺)、東恵子さん(中小森町)、
山田恵美さん(西本郷町)、馬場利男さん(鷹飼町)

年代も住む地域もさまざまな4人。子育てやアート、グルメなど関心のある分野もそれぞれで異なり、日々、バラエティ豊かな記事を生み出しています。





**ボーダレス・
アートミュージアム
NO-MA**

◎ 永原町上16

昭和初期の町屋を改築し、平成16年6月に開館した、社会福祉法人グローが運営するミュージアム。アール・ブリュット(専門的な美術教育を受けていない人たちによる「生の芸術」の意)を軸として、「人の持つ普遍的な表現の力」を感じることができる企画展を開催されています。

リポーターさんの取材現場に密着!

東さんと一緒に、ボーダレス・アートミュージアムNO-MA(永原町)での展覧会「第16回滋賀県施設・学校合同企画展 ing...~障害のある人の進行形~」にお邪魔しました。日々、リポーターさんたちがどのように記事と写真を作成しているのか、その様子をご紹介します。



作品の色使いが
カワイイですね!

展示はどのよう
にされていますか?

①話を聴く

スタッフさんに説明いただきながら、作品を見て感じたことをノートに記していきます。何気ない会話から、制作者の思いや作品に対する理解が深まることも。普段の取材時には「参加者の声を聞くこと」を大切にしているそうです。

この日作成した記事がこちら!



ほととぎす日々の芸術を展示

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA(永原町)で開催中の「第16回滋賀県施設・学校合同企画展 ing...~障害のある人の進行形~」では、日常の中で作り出される「今」を表現した33人の作品が、2期にわたり展示されます。

16回目となる今年も、粘土や画用紙、布、クリアファイルなどさまざまな素材を用いた自由な作品が並びました。

障害者支援事業所いきいきの坪田千鶴子さんの「みんなの顔」は、作業所の仲間の顔をパステルクレヨンでさらさらと描かれています。

展示の仕方は、学芸員のサポートを受け、作者と支援員が手探りで考えていくのがこの展覧会の特徴です。

「ワンチーム」の精神で作上げる企画展。NO-MAのスタッフさんは「展示をすることで、作者の自信にもつながります。ご本人の力を伸ばすきっかけになれば」と話していました。

前期は12月28日まで。後期は7月11日から2月9日まで。月曜休館。



どの角度が
いいのかな?

②写真を撮る

一眼レフカメラで作品を色々な角度から撮影します。カメラは旦那さんの愛用のものを使用し、使い方を相談することもあるとか。撮った写真は旦那さんにスマホへ転送してもらって、選別されています。

③原稿を作る

原稿は、取材時のその場の雰囲気や自分の気持ちを表現するためにも、なるべくその日のうちに書いてしまうという東さん。ノートに文章をどんどんまとめていきます。

見出しを考えるのが好きで、ノートには候補の見出し案がずらりと並びます。

今日も
いいお話が
聴けたな〜



リポーターさんの日々の活動をご覧ください!

リポーターさんの日々の活動は次の媒体で発信しています。元気で明るい、市民目線での情報発信をお楽しみください。

市ホームページ



赤こんリポーター
Facebookページ



広報紙



来年度の
リポーター募集は
3月中に行います!